

7年8月10日

南箕輪村議会議長 様

提出者名 原 源次

議員研修・議員視察結果報告書

研修名または視察テーマ	総務経済常任委員会
研修・視察実施場所	長野市若穂保科温泉・群馬県たんげ温泉三郷館
研修・視察の期間	7年7月28日～ 7年7月29日
研修・視察の成果等	<p>◎長野市若穂温泉、若穂いこいの家 長野市役所の村石課長補佐・高橋主事・いこいの家佐伯氏より、バイオマス産業都市構想の概要・木質ペレットボイラーについて説明を受けた。</p> <p>・都市構想は令3年策定令4年2月バイオマス産業都市に認定をされた。目標10年で事業化プロジェクト・地域波及効果・実施体制を立てた。実際に使用されているいこいの家の説明は、ペレット・重油ボイラー併用で使用。利点は、バイオマス資源の有効活用、温室効果ガス削減。反対に灰だし、点検作業の増加、急な負荷変動、サイロ等スペースが必要、故障がある。</p> <p>◎たんげ温泉三郷館 館主高山弘武氏より説明を受けた。宿自体が山中にあり、チップ利用のボイラーにて稼働していた。原料格納庫は地下、材料はペレットより安価、故障も少なく焼却灰も土地還元がされている。</p> <p>実際にチップを供給されている会社。渋川県産材センターの牛口学氏の説明を受けた。</p> <p>2件のバイオマスボイラーを視察したが木材の有効活用・温室効果ガス削減などの利点もあるが材料の供給、機種選定など導入について充分慎重にいかなければと思った。</p>

※研修・視察終了後、議長または委員長が定めた期日までに提出すること。